

(イ) JRの運転事故等の概況(九州管内)

JR3社(JR九州、JR西日本、JR貨物)の運転事故発生状況は表-1に示すように、総件数28件で対前年度1件(3.7%)増であった。

事故種別で見ると、前年度より踏切障害事故が5件減、人身傷害事故が6件増となっている。

原因別に見ると、図-1に示すとおり、部外原因が96%と大部分を占めており、その主な内容は、踏切道(直前横断、停滞等)と線路内立入となっている。

表-1 管内運転事故件数の推移

事故種別		年度	26	27	28	29	30	R01
列車衝突	件数							
	死亡							
	負傷							
列車脱線	件数	1		2				
	死亡							
	負傷	18						
列車火災	件数							
	死亡							
	負傷							
踏切障害	件数	24	21	18	20	13	8	
	死亡	9	7	7	9	6	1	
	負傷	8	5	10	16	2	1	
道路障害	件数							
	死亡							
	負傷							
人身障害	件数	21	18 (1)	18	18	14	20 (1)	
	死亡	16	11	7	15	11	13	
	負傷	5	7 (1)	12	3	3	7 (1)	
その他	件数				1			
	死亡							
	負傷							
合計	件数	46	39 (1)	38	39	27	28 (1)	
	死亡	25	18	14	24	17	14	
	負傷	31	12 (1)	22	19	5	8 (1)	
列車走行キロ(千km)		80,517	80,560	78,743	78,536	74,079	77,490	
100万キロ当たりの件数		0.57	0.48	0.48	0.50	0.36	0.36	

(注) ()内は有責事故